

海を越えて、  
世代を超えて

# PIARC 道路橋の点検、マネジメント、 リハビリテーションに関する国際ワークショップ

## 明石海峡大橋開通25周年

世界道路協会（PIARC）道路橋に関する技術委員会（TC4.2）は、2023年5月、技術委員会を神戸で開催するのに合わせ、4年間の活動の成果および道路橋に係る点検、マネジメント、リハビリテーションに関する国内外の先進的な技術、さらに、明石海峡大橋開通25周年に合わせ、国内外の吊構造橋梁の維持管理の紹介、意見交換を行います。世界各国の道路橋の点検・マネジメント、リハビリテーションに関わる専門家と、意見交換を行う貴重な機会です。皆様の参加をお待ちします。

### 主なトピック

- 各国の道路橋のリハビリテーション技術
- 各国の道路橋の点検とマネジメント
- 国内外の吊構造橋梁の維持管理

開催日	2023年5月11日（木）9時30分開始
会場	ラッセホール <a href="https://www.lassehall.com/access/">https://www.lassehall.com/access/</a> 住所：神戸市中央区中山手通4-10-8 アクセス：神戸市営地下鉄「県庁前駅」下車 400m
参加方法	対面のみ（Web参加はありません。）
会議登録・参加費	無料（下記の事前登録が必要です。）
使用言語	日本語及び英語（同時通訳付き）
主催	世界道路協会(PIARC) 道路橋技術委員会(TC4.2) 本州四国連絡高速道路株式会社 公益社団法人 日本道路協会
協賛	西日本高速道路株式会社 阪神高速道路株式会社 一般財団法人 橋梁調査会 一般社団法人 日本橋梁建設協会 一般社団法人 プレストレスト・コンクリート建設業協会 本四高速道路ブリッジエンジニアリング株式会社

### 参加お申込み方法（2023年4月20日（木）締切）

参加をご希望の方は、参加希望者の

①お名前、②ご連絡先の電話番号、③電子メールアドレス、④ご所属（所属先ない場合、空欄可）を電子メールにてワークショップ事務局までお送りください。

（定員に達し次第募集を締め切りますので、お早目にお申し込みください。）

電子メールアドレス：[kobe2023ws@Jb-honshi.co.jp](mailto:kobe2023ws@Jb-honshi.co.jp) FAX：078-291-1362

### 【連絡先・事務局】

連絡先：PIARC TC4.2ワークショップ事務局：本州四国連絡高速道路(株) 今井、井上、綾城  
お問い合わせ：078-291-1091（平日9:30-17:00）

# プログラム

時間	項目
09:00-09:30	受付
09:30-09:50	開会式
09:50-11:05	<b>PIARC TC4.2 道路橋の成果</b> (10分×5発表+20分質疑応答) <ul style="list-style-type: none"><li>道路橋の気候変動へ適応するための対策：Heungbae Gil、韓国高速道路公社、韓国</li><li>構造破壊のフォレンジック(科学捜査)工学：Joseph Hartmann、Federal Highway Administration、アメリカ</li><li>橋梁点検技術と橋梁マネジメント：Gonzalo ARIAS Hofman、INES Engineering、スペイン</li><li>リハビリテーション(修復)に使用する新材料/新技術：Pierre GILLES、SPW Mobility and Infrastructure、ベルギー</li><li>地震に伴う損傷にレジリエンス(強靱)な橋梁：Dimitrios PAPASTERGIOU、Federal Roads Office (FEDRO)、スイス</li><li>質疑応答(20分)</li></ul>
11:05-11:20	休憩
11:20-12:40	<b>橋梁の特殊点検とリハビリテーション</b> (15分×4発表+20分質疑応答) <ul style="list-style-type: none"><li>スイスにおける道路橋のポストテンションケーブルとスティケーブルの点検技術と開発：Dimitrios PAPASTERGIOU、Federal Roads Office (FEDRO)、スイス</li><li>PC橋の外ケーブル・内ケーブルの点検：Gonzalo ARIAS HOFMAN、INES Engineering、スペイン</li><li>フランスのPC橋のPCケーブルの診断と補修：Nicolas Bardou、Vinci、フランス</li><li>阪神高速における大規模更新工事：藤原勝也、阪神高速道路(株)、日本</li><li>質疑応答(20分)</li></ul>
12:40-14:00	昼食
14:00-15:35	<b>橋梁点検とマネジメント</b> (15分×5発表+20分質疑応答) <ul style="list-style-type: none"><li>性能指標を用いた橋梁の維持管理マネジメント：Fairul Zahri、Public Works Department、マレーシア</li><li>オランダにおける橋梁点検：Marcel Kraus、Ministry of Infrastructure and Water management、オランダ</li><li>オーストリアにおける橋梁点検：Erwin PILCH、ASFINAG、オーストリア</li><li>アメリカにおける橋梁の現状とマネジメント：Joseph Hartman、Federal Highway Administration、アメリカ</li><li>日本における橋梁の現状とマネジメント：白戸真大、国土交通省、国土技術政策総合研究所、日本</li><li>質疑応答(20分)</li></ul>
15:35-15:50	休憩
15:50-17:25	<b>吊構造橋梁の維持管理</b> (15分×5発表+20分質疑応答) <ul style="list-style-type: none"><li>斜張橋のロボットによるケーブル点検：Yvonne Gunreben、Federal Ministry for Digital and Transport、ドイツ</li><li>ノルマンディー橋の維持管理とマネジメント：Nicolas Bardou、Vinci、フランス</li><li>ゴールデンゲート橋の維持管理87年：Steve Song、Golden Gate Bridge Highway and Transportation District、アメリカ</li><li>関門橋のリハビリテーション50年：森下弘大、西日本高速道路(株)、日本</li><li>本州四国連絡橋の維持管理：横井芳輝、本州四国連絡高速道路(株)、日本</li><li>質疑応答(20分)</li></ul>
17:25-17:40	閉会式